

事務事業名		児童福祉施設整備事業		所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
総合計画体系的	政策名	(Ⅲ)地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》		所属G	子育て支援グループ	課長名	狩野 明芳
	施策名	(22)子育て支援の充実		担当者名	今岡 靖	電話番号	0854-40-1044
	目的	対 A)子ども(乳幼児・児童生徒)	意 A)心身ともに健やかに育つ。B)安心して子育てができる。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名	(内線)	3626
	対象	象 B)子どもの保護者	意 B)安心して子育てができる。	0 1 1 5 1 1	児童福祉施設整備事業		
	基本事業名	(064)子育て環境の充実		1 0 0 5 0 1	中事業名	児童福祉施設整備事業	
	目的	対 象	子ども	意 図	整えられた環境で育つ。		

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
【加茂子育て支援センター(放課後児童クラブ)の整備】
・旧加茂保育所を活用し、子育て支援センターと放課後児童クラブを実施していたが、建築年度が古く、耐震化も図られておらず、さらに建物の老朽化が進んでいることから、児童等の安全を確保するために、既存施設を取り壊し、新たな施設を整備。
・解体～設計～建設

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	25年度実績(25年度に行った主な活動)		26年度計画(26年度に計画する主な活動)		
		・施設整備のために必要な工事等入札事務や工事監理等事務 ・事業執行のための地元・現場調整、地元・業者協議等		・H25年度で終了		
	② 活動指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	ア	子育て支援センター(放課後児童クラブ)施設整備数	箇所		1	
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	
	・在宅児童及びその保護者(支援センター) ・保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校1～3年に就学している児童(放課後児童クラブ)	ア	未就園児童数(加茂地域)	人			32	
		イ	加茂小学校1年生～3年生	人			165	
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)		
利用者が安心して安全に施設を利用することができる。	ア	年間延利用者数(加茂子育て支援センター)	人			1,588		
	イ	年間延利用者数(加茂児童クラブ)	人			8,232		
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (25年度決算)	② コストの推移	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
《加茂子育て支援センター(放課後児童クラブ)施設整備費内訳》 ・委託料(設計等):5,884千円 ・工事費(建設、解体等):72,889千円 ・備品購入費:1,718千円	財源内訳	国庫支出金	千円			78,729
		県支出金	千円			666
		地方債	千円			
		その他	千円			
	事業費計(A)		千円			80,491
	人件費	正規職員従事人数	人			3
		延べ業務時間	時間			500
		人件費計(B)	千円			1,947
トータルコスト(A)+(B)		千円			82,438	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
子育て支援センターは、子育て世代の意見交換、交流の場としてまた、実施事業なども定着してきている。 放課後児童クラブの利用者は、増加傾向にある。また、夏休み等の長期休業中の利用希望も多い。	放課後児童クラブ運営を直営で行っていたが、社会福祉法人たんぽぽへ委託を行った。	今回整備した加茂以外の地域にある児童クラブ等についても、遊休施設を活用しての運営であり、老朽化に伴う環境整備面での要望が寄せられている。

事務事業名	児童福祉施設整備事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	------------	-----	-------	-----	--------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	施設を新たに整備したため、さらなる利用者増に向けた取り組みが必要である。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	単年度事業であるが、他の老朽化した施設も今後計画的に整備する必要がある。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		放課後子ども教室(教育委員会所管)
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		開設日、利用要件等は異なるが、ほぼ同様な事業。一体的・効率的な運用が求められている。
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		入札減以外は削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	施設整備のための、地元説明、現場調整・業者協議や入札・予算執行事務等であり、削減の余地はない。		
⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	市内全ての児童が対象であり、公平・公正である。	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	他の施設も老朽化が進んでおり、既存施設の有効活用や事業の一体化等を検討したうえで、今後も計画的な施設整備が必要である。		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持		×																
	低下	×	×																
H25年度で終了	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		